

令和3年度 第3回事業評価監視委員会 一括審議案件一覧（事業進捗等に大きな変更がない事業）

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費 (億円) 上段： 前回 評価時 下段： 現時点	事業概要	事業を巡る 社会経済情勢等 の変化	主な事業の 進捗状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト削減や 代替案等 の可能性	事業の投資効率性		都道府県・政令市等 の意見	対応方針 (原案)
									【事業全体】	【残事業】		
一般国道 8号福井 バイパス	福井県あわら市 笹岡～福井県越 前市塚原町	S41年度事業化 S41年度用地着手 S41年度工事着手 H2年度事業化(延伸部)	940 1005 (+6.9%)	一般国道8号は、新潟県新潟市を起点とし、北陸3県（富山、石川、福井）の主要都市及び滋賀県湖東地域を経て、京都市に至る延長約570kmの主要幹線道路であり、沿線地域の産業・経済を支えるとともに、北陸自動車道や名神高速道路などとともに広域ネットワークを形成するなど重要な役割を担っている。福井バイパスは、地域産業の活性化、交通安全の確保、災害時の住民避難支援を目的とした延長42.2kmの道路である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 (事業費) 約98% 用地取得率 (面積) 約100%	事業進捗上の大きな課題はなく、引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。	今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。	【事業全体】 総便益B ：7,410億円 総費用C ：4,158億円 B/C=1.8	【残事業】 総便益B ：175億円 総費用C ：88億円 B/C=2.0	国道8号福井バイパスの対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。国道8号のあわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女間5.4kmについては、平成30年9月に暫定2車線で供用開始し、人流、物流において大きな役割を果たしている。また、平常時に加え、平成30年2月および令和3年1月の大雪などの災害時における機能強化を図る必要があることから、石川県境部の金津道路、牛ノ谷道路とあわせて、早期に4車線化することは極めて重要である。引き続き、コスト削減を図りながら事業を推進し、用地取得が完了していることから、早期の4車線化完成および完成時期の公表をお願いしたい。	事業継続